

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

液体塞栓物質注入後の hybrid type マイクロカテーテル断裂時の対応									
1. 研究の対象および研究対象期間 2020 年 1 月 1 日～2025 年 6 月 30 日で昭和医科大学横浜市北部病院、昭和医科大学藤が丘病院、和歌山労災病院、宇都宮記念病院、旭中央病院で AVM、dAVF 患者で血管内治療でカテーテル断裂の起きた患者様									
2. 研究目的・方法 AVM、dAVF の治療において液体塞栓物質を用いた塞栓術が多用されてきている中で、塞栓に使用するカテーテル断裂のトラブルシューティング例を集め報告することで、今後の治療においてより安全性を高め情報共有を行う目的で症例報告させていただきます。									
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025 年 10 月 31 日まで									
4. 研究に用いる試料・情報の種類 対象症例の年齢、性別、疾患名、疾患画像、治療時動画/画像、治療時使用デバイス、治療経過を使用させていただきます。									
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません									
6. 研究組織 研究責任者 研究機関名 昭和大学横浜市北部病院脳神経外科 氏名 市川綜一郎 既存試料・情報の提供のみを行う機関 <table border="0"> <tr> <td>機関名 和歌山ろうさい病院</td> <td>機関の長の氏名 南條輝志男</td> </tr> <tr> <td>機関名 宇都宮記念病院</td> <td>機関の長の氏名 山本雅一</td> </tr> <tr> <td>機関名 旭中央病院</td> <td>機関の長の氏名 野村幸博</td> </tr> </table>				機関名 和歌山ろうさい病院	機関の長の氏名 南條輝志男	機関名 宇都宮記念病院	機関の長の氏名 山本雅一	機関名 旭中央病院	機関の長の氏名 野村幸博
機関名 和歌山ろうさい病院	機関の長の氏名 南條輝志男								
機関名 宇都宮記念病院	機関の長の氏名 山本雅一								
機関名 旭中央病院	機関の長の氏名 野村幸博								

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院脳神経外科 氏名：市川 綜一郎

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：080-4163-0843